

意見書

平成24年9月5日

情報通信審議会 情報通信技術分科会
IP ネットワーク設備委員会 主査 殿

郵便番号 698-0024

住所 しまねけんますだしえきまちょう 島根県益田市駅前町 17-1 A303-2

氏名 かぶしがいしゃあつとあい 株式会社アットアイ
だいひょうとりしまりやくよこたひろと 代表取締役 横田 洋人

電話番号 0856-25-7477

電子メールアドレス info@i.at-i.jp

「IP ネットワーク設備委員会報告（案）－IP 移動電話端末の技術的条件等－」に関し、
別紙のとおり意見を提出します。

この度は、「IP ネットワーク設備委員会報告(案)－IP 移動電話端末の技術的条件等－」に対する意見公募」に関し、意見提出の機会を頂き有難うございます。

以下に、当社の意見を述べさせていただきますので宜しくお願い致します。

「第3章 ベストエフォート回線による 0AB～J IP 電話に関する検討課題」について、電話の品質に関して多くの説明がなされておりますが、「参考資料 4 通信品質に関する利用者意識調査」にもあるとおり、半数以上の利用者は品質が下がっても低料金となる事を求めている事が分かります。しかし実際には望んでいない過剰な品質確保の為、利用者は、割高な費用負担を無条件に強いられている状況となっており、現在の 0AB～J サービスは健全なサービスとは言い難いのではないかと感じております。

その為、今後はこれまで通りの高品質の 0AB～J サービスに加え、品質の差などを十分に周知した上でのベストエフォート回線による 0AB～J の IP 電話サービスを実現し、利用者自身が望むサービスを選択できる形とする必要があると考えます。

また、ベストエフォート回線による 0AB～J の IP 電話サービスは、本来であれば「光の道」の実現など、全国津々浦々までブロードバンド網が整備された上で提供されるネットワークサービスの一つとして考えておりますが、本サービスの開始時期を網の整備完了以降に引き延ばす事は、利用者にとっても大きな不利益となる為、望ましくないと考えます。

他方で、ベストエフォート回線による 0AB～J の IP 電話が、ブロードバンド網の利用が可能な地域のみでサービスされ過当競争が起こる事となれば、その他のエリアでユニバーサルサービスを提供している事業者 (NTT 東日本・西日本) のみが競争上の不利益を被り、結果的にユニバーサルサービスそのものが維持出来なくなるのではないかと、という危惧がございます。

以上の状況から、1. 品質の差などを十分に周知した上でのベストエフォート回線による 0AB～J IP 電話サービスの早期実現を目指すと共に、2. 本サービスに参入する事業者には、例えば「ユニバーサルサービス料を追加負担して頂く」など、ユニバーサルサービス維持の為の追加義務を負って頂く事、の2点が必要だと考えます。

以上